

とおの議会だより

No.48

平成29年2月

【発行】
遠野市議会



主な内容

- ◆12月定例会の概要 2
- ◆市民の声を市政へ 5
- ◆一般質問 8人市政を問う 12

第42回 市民の舞台

遠野物語ファンタジー

目覚めよ！進^め尽^{しん}～未^{いま}だ忍^{しだ}峠^{とうげ}～

遠野市民センターリニューアルオープン記念として、
2月25日(土)・26日(日)に上演されます。
本番に向けて、稽古に熱が入ります。



遠野市議会議長

新田 勝見

明けましておめでとうございます。昨年は、市民と議会との懇談会などで議会に対する意見や提言を賜り、誠にありがとうございました。

国際情勢が大きく変わり混沌としており、日本にとっても目の離せない現状にあります。情勢を見極めながら地域の発展に尽力しなければなりません。特に市政課題に力を注がなければなりません。

議会においては、二元代表制を堅持するためにも、議員間討議など個々の意見は尊重しながらも、議会の総意を示していかなくてはならないと思っております。そのためにも議員個々の活動を活発にし、市民の声を汲み取ることが大切と思っております。結びに、市民の皆様のご多幸とご健勝を祈念し、年頭の挨拶といたします。

12月定例会



平成28年12月定例会が、12月2日に招集され、9日までの8日間の会期で開かれました。今定例会では、一般質問に8人の議員が登壇し、市政を問いました。提案された平成28年度補正予算関係4件、条例の制定3件、その他2件の全9議案を原案のとおり可決しました。また、今定例会の最終日では、平成28年度補正予算関係1件、条例の制定2件、人事案件1件が追加提案されたほか、議員発議による請願2件、意見書2件を可決しました。

請願

◆請願第5号

農協改革・指定生乳生産者団体制度維持に関する請願

〔請願者〕花巻農業協同組合代表理事組合長 高橋専太郎

〔採択〕

◆請願第6号

「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願

〔請願者〕遠野市農民組合 組合長 阿部 喜一

〔採択〕

議員発議

今定例会では、2件の議員発議案（意見書2件）が提出されました。

意見書

◆発議案第9号

農協改革・指定生乳生産者団体制度維持に関する意見書

農協は、中山間地を

反対討論

佐々木大三郎 議員

今回政府が示している農協改革の方針は、農業者の努力だけでは解決できない恒常的な問題を解決するための農協の改革で、肥料などの販売価格の値下げや、農家からの委託販

◆発議案第10号

農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書

国の農政は、農地集積、大規模・効率化を進めるが、米価が生産費を大きく下回り、規模を拡大した集落営農組織や法人ほど赤字が拡大、経営危機に陥りかねない。

平成25年度までは「農業者戸別所得補償制度」で、多くの稲作農家の再生産と農村を支えていた。「経営所得安定対策」に切り替わり、交付金の引き下げで稲作農家の離農が加速している。この制度も平成30年度産米から廃止されようとしている。

反対討論

萩野 幸弘 議員

農業を守るということは、食糧自給率を高め、国土を保全すること。現在の経営所得安定対策は、完全な制度とは言えず、農協改革も含め慎重かつ丁寧な議論を要する内容である。

しかし、農業従事者の高齢化や後継者不足が顕著な日本の農業の現状を、若者が思いきりチャレンジできる環境にすることが急務である。時代に即した農政の抜本的な見直しを進め、食糧自給率の改善など農業基盤確立を

賛成討論

多田 誠一 議員

遠野の稲作農家の現状は、効率的な作付けでも生産費を下回っているがそれでも米を作らざるを得ない。作付け面積が大きいほど、米価が下がったときの影響は大きい。

農家が経営を維持していくためには、新制度までの間、戸別所得補償を復活させなければ、遠野の農地は耕作放棄地になってしまう。

賛成討論

小松 大成 議員

農業協同組合法という法律の下で活動する自主的組織である農協に対して、法的に何の根拠もないワーキンググループが、農業がこうではならないということ自体が、民主的団体に對する介入である。買取制度については、農産物が腐敗して販売できなければ、農協組織ならびに組合員

賛成討論

多田 誠一 議員

農協は農家が出資した組合である。その任務は国民に対して安定した食糧を供給して、国民の食糧を守るとい

うのが一番の使命。食糧難の時代から、農協農家が果たしてきた役割は非常に大きい。農協の使命と農家の役割をしっかりと再認識したうえで農協改革が行われることに期待してこの意見書に賛成。

◆発議案第10号

農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書

国の農政は、農地集積、大規模・効率化を進めるが、米価が生産費を大きく下回り、規模を拡大した集落営農組織や法人ほど赤字が拡大、経営危機に陥りかねない。

平成25年度までは「農業者戸別所得補償制度」で、多くの稲作農家の再生産と農村を支えていた。「経営所得安定対策」に切り替わり、交付金の引き下げで稲作農家の離農が加速している。この制度も平成30年度産米から廃止されようとしている。

賛成討論

小松 大成 議員

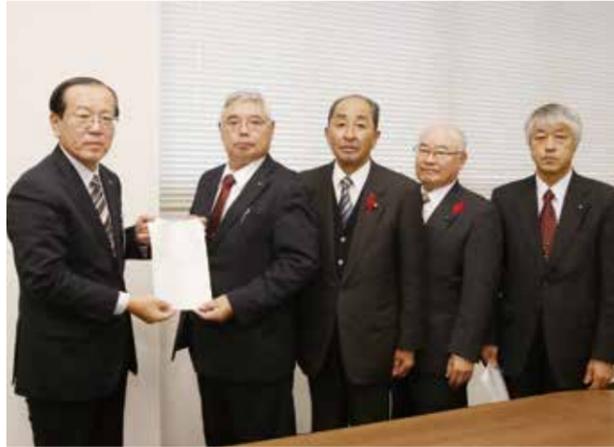
日本の農業を支えているのは水田である。この補償制度がなくなれば、日本の農家は疲弊する。この意見書により、いろいろな制度設計に発展させていくために賛成。

反対討論

菊池 巳喜男 議員

この意見書には、米の所得補償のみの訴えしかなく、米以外の作物への対策が明記されていない。平成30年産からは、行政による米





市議会から本田敏秋市長に提言書を提出

市民の声を市政へ 市へ提言書を提出

議会では、本年4月26日から28日に、市内9会場、議会基本条例の柱の一つである「市民と議会との懇談会」を開催し、市民から意見・要望等の聞き取りを行った。意見・要望等は全部で106項目あり、昨年同様、議会運営委員

会、3常任委員会で協議を行い、そのうち、市に対し要望する3つの項目について、11月29日、「提言書」として提出した。今後は、提言に留まらず、検証・評価に繋げていき、行政当局の実効性を求めていく。

提言内容は次のとおり。

1 防災対策の強化について

市内には災害への備えを強化すべき箇所が多くある。河川改修には国の支援も必要などから、時機をとらえて国、県への要望に努め、市民生活の安全と安心を図られるよう提言する。

2 市内の児童館、児童クラブ施設の整備について

児童館、児童クラブの施設の一部においては、利用する児童数に対して施設規模が小さく、支障をきたしているとの市民の声が寄せられている。需要と

3 営農組織の法人化への支援について

集落営農組織は、法人化することで国・県などの支援を受け、利益を有効に農業者に還元し、耕地の適正な維持管理が可能になる。市民からは、法人化

に取り組みようとしているが、市からの支援が十分でないという声が聞かれた。

市としては、法人化に至っていない集落営農組織の実情を把握して、人的、財政的に支援し、遠野の農業を持続可能なものとするための農業政策を展開されるよう提言する。

12月定例会議案審議結果

議案名	賛成	反対
議案第 88 号 遠野市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について	全員賛成	
議案第 89 号 遠野市民センター条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第 90 号 遠野市市税条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第 91 号 災害弔慰金等支給審査会の委員の任命及び平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波に係る災害弔慰金等支給審査会の運営に関する事務の委託を廃止する協議に関し議決を求めることについて	全員賛成	
議案第 92 号 遠野市本庁舎建設工事の変更請負契約の締結について	全員賛成	
議案第 93 号 平成 28 年度遠野市一般会計補正予算（第 5 号）	全員賛成	
議案第 94 号 平成 28 年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第 2 号）	全員賛成	
議案第 95 号 平成 28 年度遠野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）	全員賛成	
議案第 96 号 平成 28 年度遠野市下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	全員賛成	
議案第 97 号 遠野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第 98 号 遠野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成	
議案第 99 号 平成 28 年度遠野市一般会計補正予算（第 6 号）	全員賛成	
議案第 100 号 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（菊池貞光氏）	同意	
発議案第 9 号 農協改革・指定生乳生産者団体制度維持に関する意見書の提出について	14	2
発議案第 10 号 農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書の提出について	10	6

賛否の公表

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
議員氏名	小林 立栄	菊池 美也	萩野 幸弘	瀧本 孝一	多田 勉	菊池由紀夫	佐々木大三郎	菊池巳喜男	照井 文雄	荒川 栄悦	菊池 充	瀧澤 征幸	小松 大成	細川 幸男	浅沼 幸雄	多田 誠一	安部 重幸
発議案第 9 号	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
発議案第 10 号	●	●	●	欠	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○

※議長は採決に加わりません。○は賛成、●は反対、欠は欠席。
※全員賛成、または全員反対以外は、賛否の内訳を表記します。

11月臨時会議案審議結果

平成 28 年 11 月臨時会が 11 月 21 日に開催されました。

議案名	審議結果
議案第 85 号 平成 28 年度遠野市一般会計補正予算（第 4 号）	全員賛成
議案第 86 号 平成 28 年度遠野市水道事業会計補正予算（第 2 号）	全員賛成
議案第 87 号 教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて（角田直樹氏）	同意

市民の声



このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等について一部ご紹介します。（文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。）

いつも読ませて頂いております。実際に議会だよりを見て、遠野テレビの定例会の様子そのものが記されていて身近に感じられます。（早瀬町 女性）

クイズが楽しみです。中を良く見て理解することもいいです。勉強です。（穀町 女性）

議会だより毎回読んでおります。市議会の皆様に意見なのですが、情報ビジネス校の跡地を部活動の遠征で使う、練習場や合宿場に利用してみたいかですか。（宮守町 男性）

～声の議会だよりをお届けします～

遠野市議会では、目の不自由な方にも市議会への理解と関心を深めていただくため、朗読ボランティア宮守のみなさんにご協力いただき、声の議会だより（CD・カセットテープ版）を作成し、貸し出します。

随時、申し込みを受け付けていますので、ご希望の方は遠野市議会事務局（電話番号 67-2111 内線 252）までお問い合わせください。



宮守町で活動している朗読ボランティア宮守の皆さん

議員研修会に参加 市政調査会

〔研修日〕

平成28年11月22日

〔研修箇所〕

あすもあ遠野

盛岡グランドホテル

〔参加議員〕

16名

市政調査会の11月例会として総会を開催し、岩手県市議会議員研修会に参加した。総会では、平成28年度事業報告および収支決算、平成29年度事業計画および収支予算について審議した。(会



岩手県内の議員が一堂に会す研修会

計年度は11月～翌年10月)

平成28年度は特に、台風10号による被害状況を調査するため、9月に臨時会を開催して現地調査を行ったことが報告された。

市議会議員研修会では、「ラグビーワールドカップ2019岩手県・釜石市開催について」と題し、県ラグビーフットボール協会の白根敬介会長が講演。大会は「世界とつなぐ、市民をつなぐ・安心をつなぐ・未来へつなぐ」の4つを基本に開催することを聞いた。

次に、「どうなる？ 今後の日本政治」と題し、政治評論家の有馬晴海氏が講演。アメリカ大統領の交代による日本への影響、世界における日本の立場、少子高齢化における自治体の対応など、興味深い内容であった。

議会改革推進特別委員会から報告

平成28年6月に立ち上がった議会改革推進特別委員会は12月14日で10回目の開催となった。

これまで扱ったテーマは、議会の会議に資料等を見られるタブレット端末の導入、議員による条例の提案、議案の修正等、議員間討議、議案の調査、通年議会、定例会日程、政務活動費等でした。

12月1日には遠野市議会議員研修会を開催した。講師は青森中央学院大学経営法学部准教授の佐藤淳氏で「議会改革第2ステージに向けて」と題して全議員と市当局担当者で研修をした。とても参考になる研修だった。以上を議員全員協議会に報告し、今後タブレット



議会改革に向け一歩前進

〔議会改革推進

特別委員会〕

- 委員長 荒川栄悦
- 副委員長 浅沼幸雄
- 委員 小林立栄
- 菊池美也
- 萩野幸弘
- 菊池由紀夫
- 佐々木大三郎
- 細川幸男

ふるさと再生を目指し会社設立 清河の取り組みに学ぶ

総務常任委員会

〔視察日〕

平成28年

10月25日～26日

〔視察研修先〕

広島県三次市

清河自治振興会

〔参加議員〕

菊池由紀夫

佐々木大三郎

瀧本孝一

浅沼幸雄

安部重幸

新田勝見

〔同行職員〕

市民センター市民協

働課長 小向浩人

■清河自治振興会の取り組み

清河自治振興会のある三次市清河町は、人口約5000人、市内19の自治組織で最も人口の少ない地域である。自分たちの住む町を自分という主体的な取り組みが評価されている。その活動の源となっているのは、(有)ブルーリバーの設立である。地域活性化のために小学校を残そうと、9人の住民が、1人100万円を出資し会社を立ち上げた。「ふるさと再生」の鍵は後継者の育成。小さな町の大切な学校の存続を願い、最初に取り組んだのは、住宅を建て子育て世代を誘致しようという取



(有)ブルーリバーの新築した住宅の前で

り組み。子どもは必ず清河小学校に入学させることを条件にしている。空き家についても、(有)ブルーリバーで修理して安価で貸す。当初は3棟だった住宅も今や11棟に移住世帯が入居し、近くにマイホームを建設した世帯を含めると13年間で14世帯63名が清河町の住民となっている。

清河自治振興会は定住対策の他にも、高齢者の送迎などを行う暮らしのサポート事業や、農業を好きな子どもを育てようと子どもを巻き込んだ朝市などにも取り組んでいた。さらには、合同会社「あおが」を設立し、どぶろく醸造、レストラン部の開業など新たな事業

へと裾野を広げている。

■三次市の取り組み

三次市まち・ゆめ基本条例

は、まちづくりの基本理念や仕組みを定めている。誰にでもわかりやすい優しい文体で書かれているのが特徴的である。この条例の作成にあたっては、大学教授や研究者などの有識者を含まない15人の三次市民が1年をかけ素案を練り上げていた。作成後も住民自治組織のまちづくりの取り組みをまとめた事例集の発行など条例制定後のフォローがしっかりと出来ていた。

また、住民自治組織それぞれの地域の特徴を生かしたビジョンづくりが行われていた。19の自治組織それぞれ



子ども向けまちづくり冊子

れ地域住民の手で計画を作成。興味深いのは、市役所職員に地域応援隊という制度があり、19地区自治組織ごとに5人の隊員(職員)が配置され、市民と行政の良きつなぎ役となつて協働の取り組みがされてきた。

このたびの視察を通して、地域には自立の精神が必要であり、行政には市民の力を引き出し、それによって考える力、行動する力、協力する力などにつながる地域づくりが必要だと学んだ。

学校施設現地調査

教育民生常任委員会

読みやすい紙面を目指して

広聴広報
常任委員会

〔調査日〕

平成28年10月17日

〔調査箇所〕

市内小中学校

総合教育センター

〔参加議員〕

萩野幸弘 瀧澤征幸

菊池美也 小松大成

小林立栄

市民との懇談会で、指摘を頂いた学校施設の改善要望の現地調査を実施するにあたり、他の教育施設の現況調査も併せて実施した。午前中は遠野東中学校、土淵小学校、附馬牛小学校の順にまわり、教育センターで学校給

食を試食した。午後は遠野中学校、小友小学校、遠野西中学校、宮守小学校と計8施設の現地調査を実施した。各施設とも程度の差はあるが、特に土淵小学校舎と宮守小学校のプールは早急な改修が必要である。ちなみに今般の定例会で宮守小学校のプール改修予算が計上されている。逆に附馬牛小学校と遠野中学校の施設の充実ぶりが際立った。

市内の教育施設は比較的凝った作りが多く、維持管理が難しい面もあるが、児童生徒の安全には代えがたい。市当局には危険度や優先度を見極め早い段階での問題解決に努めてほしい。



教育施設の現状を確認



川西町議会では表紙は600枚以上の写真から選択する

米沢市議会は、全議員(24名)による広報広聴委員会が設置され、議会報告、企画・政策提言、情報の3つの部会で活動している。議会は、音声データ委員会自ら文章化していること、今後参考としており、今後参考として。川西町の議会だよりは、平成26、27年度の町村議会広報コンクールで最優秀賞を受賞し、編集、表現、バランスに優れた広報誌。長年にわたる「議会だより」の編集に関する覚えを基本としマニュアル化されており、議会だよりへの取り組みがいかに大事で、大切であるかを感じた。今後、活動に活かしていきたい。

空き家対策・ふるさと納税の取り組みを視察

〔視察日〕

平成28年

11月8日～9日

〔視察研修先〕

山形県天童市

〔参加議員〕

小林立栄 菊池巳喜男

萩野幸弘 照井文雄

瀧本孝一 浅沼幸雄

佐々木大三郎

●空き家対策について

平成25年に「天童市

空き家等の適正管理に

関する条例」を制定し、

空き家に対する住民の

要望に素早く対応した。

その後も、「空き家バ

ンク」・「天童市移住推

進等空き家利活用支援

事業」・「天童市空き家

バンク登録促進事業」

を実施し、空き家を有効利用した移住定住の推進を図っている。本市も地域住民の協力を得ながら、切れ目ない取り組みが必要だと感じた。

●ふるさと納税の取り組みについて

平成26年度より返礼品を導入し、市の認知度の向上と地場産業である将棋駒産業の振興という、明確な目的を持って取り組んでいる。昨年度は、寄付件数が約18万件、金額が約32億円であった。名前の入った将棋駒ストラップのおまけが好評で、寄付件数が増加した。本市も遠野らしさを追求した返礼品の取り組みが重要だと、改めて感じた。

〔視察日〕

平成28年

11月15日～16日

〔視察研修先〕

山形県鶴岡市

山形県東根市

〔参加議員〕

萩野幸弘 多田誠一

多田勉 安部重幸

菊池由紀夫 新田勝見

瀧澤征幸

次産業化への支援等により農家所得の向上を図っている。

温海地域では、現在20名の農家が30度近い山の斜面で栽培している。8月中旬に播種して10月から雪が降る時期まで収穫する。10a当たり800から1000kgで、年間30tの生産量は、農協に出荷(200円/kg)される。昭和59年に設立された一

霞温海かぶ生産組合の漬物加工場で付加価値を高めて全国に販売している。低コスト、省力化が図られ、遠野市で課題となっている農地等の保全に対して有益な農法であると実感した。

◆鳥獣被害防止計画の取り組みを学ぶ

東根市では、カラス

やスズメ、ムクドリによる被害が大。次いでサル、イノシシ、クマ、ハクビシンとなり、農作物被害にとどまらず、他の例から人身事故の発生も懸念されること。平成27年度の被害額は2億3千5百万円で、イノシシの捕獲頭数は99頭と増加傾向にあることから、イノシシ被害防止柵設置事業を市単独で実施している。

同市では、鳥被害など詳細な調査の下に計画がなされており、計画の変更も含めて早めの対応が感じられた。また、県に対して夜間捕獲許可の要望をしていることから、遠野市においてもシカ等への対策として行動すべきではないか。

焼畑農法によるあつみかぶの栽培と鳥獣被害防止計画の取り組みを研修



明確な目標と高い意思を持って取り組んでいると感じた

◆400年以前からの歴史「温海かぶ」を知る
寛文12年の「松竹往来」に庄内の産物として「温海蕪」の記述があるという。鶴岡市の温海地域では、少量多品目でも流通できる仕組みづくり、そして同地域の特産である焼畑あつみかぶのブランド化の推進や6

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長萩野幸弘議員、副委員長菊池美也議員）は、条例3件、予算4件、その他2件について付託を受け、審議を行いました。

本庁舎請負契約変更で工期はどのようになる

問 今回の変更は、計画段階で設計し積算されていたのか。

答 基本設計の中で予定はしていたが、当初は限られた予算のため発注を見送った。今回はその部分の変更請負契約である。

問 工期は示されていないが、変更は無いのか。

答 当初は3月末までの工期であったが、最

終的な工期は7月末に完成することで進める。

問 工期延長の理由は。

答 今回の変更は、現場発注時に敷地内の住居等の解体が着工時期までに終了できず、工期を伸ばさざるを得なかった。当初は、全て工期内でできるものと見込んでいた。

問 今後、工事費の追加はないか。

答 予算の増額はないということを進めている。

社会福祉協議会運営支援事業の内容は

問 事業の詳細は。

答 福祉センター内の松崎地区センター事務所等の移設工事、レクリエーション遊戯室の天井改修工事をおこなう。

問 レクリエーション遊戯室の天井改修に至った経緯は。

答 昭和60年に整備された施設で、31年を経過している。今年度、雨漏り対策等の工事をした際、天井を吊り下げていた部材の破損、接合部のズレが発見された。落下の危険性があり改修する。

問 非構造部材（窓枠やガラス、外壁など）の耐震化の推進が必要では。

答 耐震基準は満たしている。非構造部材については、日常の点検を行っており、現時点

で危険な箇所はないと把握している。

問 乾いたけの被害後の生産実態と現状は

答 震災前は59名の生産者が約40万本のホダ木で生産していた。震災後の平成24年度から取り組んできている対策事業の実績は。

答 今回の補正予算を含め全体として41名で

19万4750本になる見通しである。

問 平成27年春に植菌して、28年の秋に発生した、しいたけとホダ木の放射性セシウム検査結果で、指標値を超えた件数は何件あるのか。

答 具体的な数値は持ち合わせていないが、ホダ木から指標値を超える検査結果がでていると聞いている。

問 指標値超えには様々な原因が考えられるが、供給原木の検査内容の強化や土壌検査も必要ではないのか。

答 検査は、岩手県が実施している。平成29年の原木供給からは、今回の実態を踏まえ、調査本数を増やし精度を高めるとともに、継続して空間線量や土壌検査も実施していくと聞いているので一体となつて取り組みを強化していきたい。

インバウンド体制整備の推進を

問 東北観光復興対策事業の内容は。

答 台湾の旅行会社やマスコミの招へい、台湾向け観光情報ウェブサイトにへの情報掲載、台湾で開催されるイベント等に出向いてのプロジェクト活動。花巻・遠野・平泉観光推



1月12日開催の放射能汚染対策特別委員会の様子

市の除雪対策は

問 除雪対策会議とはどのようなものか。

答 その年の除雪業者との打ち合わせ会議である。

問 市民と除雪方針や情報交換の場があればと思うが。

答 過去には行っていない。

問 区長や地域の方々との話し合いで、業者が困難な所を、地域の方にトラクター等で除雪をお願いするなど出来ると思うが。

答 平成23年度に遠野市雪対策検討委員会を立ち上げ、区長会会長、社会福祉協議会会長、市民の代表等で除雪課題を検討した。平成26年度以降は区長等に示し、それに基づいて除雪をしているところである。今後充実した除雪対策を考えていく。

長引く学校の雨漏りなどへの対応は

問 約10年前から体育館の雨漏りと天井からの白い粉の飛散が続き、未だ解決されないのはなぜか。

答 体育館の他にプールの問題や校舎、トイレの問題等があり、これを総合的に行っていくためには財源が伴う。総合教育会議で現状課

問 実施計画は5年ごとに見直されており、今まで2回の見直しがあったことになる。それでも実行できなかつたのはなぜか。時間が経過したことにより複数の課題が重なつてき

ているのでは。教育現場の環境について教育長の考えを問う。

題を組み立てながら計画をつくっていく。

答 昭和40年から50年にかけて整備してきた施設が老朽化が進んでいる。子ども達の安全安心の確保を優先し、学校施設の現状を総合教育会議で情報共有できたと思つている。これを基に再度実施計画等の見直しを図って、一歩二歩と前進するよう取り組んでいく。

公園遊具の充実を

問 遠野運動公園遊具設置工事の内容は。

答 「遊具の充実」に対する要望が多い。「子育てするなら遠野推進事業」の一環として整備する。既存のわんぱく広場の奥にある複合遊具は、トイレや駐車場から遠く、またベビーカーには不便。そこで

子育てするなら遠野推進事業とは

平成27年3月に策定した「遠野市少子化対策・子育て支援総合計画（通称：わらすこプラン）」で取り組むとした子ども・子育て支援の総合的な事業

問 遊具の種類は。

答 保護者の代表や保育協会などから意見を伺い、遊具の選定を進める。ゴールデンウィークの供用開始を予定している。



学習活動の基盤として安全で安心な環境を確保



小林 立栄 議員 (無会派)

一問一答方式

その他の質問

- 結婚新生活支援について

地域公共交通の活性化を

問.....

道の駅や産直へのバス乗り入れの推進、公共交通を利用する日の設定、遠野すらん振興協同組合と連携したスキップポイントサービスへの導入など、集客という視点で、公共交通の利用者を増やす取り組みが必要では。

答.....

利用者を可能な限り

維持していくという認識で、対策を講じる必要があると考える。提案を含め、地域公共交通の充実に向け、きめ細かい対応を進めたい。

問.....

地域住民が積極的に関わり、地域づくりと一体的な取り組みとして、誰でも気軽に利用できる地域交通網の整備が重要では。

答.....

公共交通施策は、市民生活や民間交通事業者の経営にも大きく影響するものであり、公共交通会議のみならず、各地区で策定中の地区まちづくり計画等の動向も踏まえ、充実に取り組む。

問.....

国際化が進む中で、英語力の向上は、未来を生きていく子ども達にとって重要であると考えられる。英検(実用英語技能検定)を活用して、英語力の向上に取り組んではどうか。

答.....



未来を生きていく子ども達のために

英語教育の充実を

問.....

国際化が進む中で、英語力の向上は、未来を生きていく子ども達にとって重要であると考えられる。英検(実用英語技能検定)を活用して、英語力の向上に取り組んではどうか。

問.....

楽しみながら英語に親しめる取り組みが大切だと考えるが。

答.....

英語を好きになる授業づくりを進めていく。また、英語に興味をもつ機会を増やすため、遠野市教育文化振興財団と連携し、学校現場においても活動を展開していただけるよう、新たな仕組みの構築について協議を進めている。

介護保険制度の改善は

問.....

2000年4月から介護保険制度がはじまり、その目的は、年をとって老化のために心身が衰え、要介護状態となった人が「尊厳」が保たれ、その有する能力に応じ「自立した日常生活」を営むための必要なサービスを給付することである。

答.....

第7期の介護保険事業計画策定に向けて、11月には内部検討会

の「社会化」としてはじまった。それから15年経過し第6期の介護保険事業の折り返し、さらには第7期の介護保険事業計画策定をむかえる時期ともなった。介護現場では様々な問題が起きている。その現状認識を伺う。

ムを立ち上げ検討を始めています。1月には計画策定に向け各種ニーズ調査を実施する。調査では要介護認定者の状況や、家族介護の実態及び第6期計画の中間評価に関する調査を実施し実態を把握し、次期計画の施策に反映させてゆく。

問.....

小友診療所に通院している市民から、院外処方箋を渡されて困っているのと相談を受けた。国の制度上のやむを得ない処置とのことだが、主な要因は何か。

問.....

が行う指導は、医療機関の立地条件などが考慮されないため、全国的にも離島やへき地の医療機関においても同様の事案が生じている。

薬剤の院外処方患者へのフォロワーは

問.....

小友診療所の平成27年度に診療報酬の平均点数が厚生労働省の指導基準を上回っており、集団的個別指導対象の指導を受けた。厚労省

院外処方による患者の利便性の低下を防ぐため、患者の状況や意向に配慮しながら個々に応じた対応を丁寧におこなっている。



小松 大成 議員 (無会派)

一括質問方式

その他の質問

- 南スーダン自衛隊派遣について
- 規制改革推進会議、農協改革に関する意見について

答.....

小友診療所の平成27年度に診療報酬の平均点数が厚生労働省の指導基準を上回っており、集団的個別指導対象の指導を受けた。厚労省



院外処方が実施された小友診療所



佐々木大三郎 議員
(市民クラブ)
一問一答方式

豪雨災害対策を問う

問……………

先台風10号に関し、避難準備情報や避難指示の発令方法に改善の余地があったのでは。例えば、遠野テレビで河川水位や降雨状況を実況放映しながら避難を呼びかけるべきではなかったか。

問……………

避難指示が発令された地域の避難状況はどうだったか。特に一人暮らし高齢者や体の不自由な方の避難状況は。また、避難しなかった理由は何か。

答……………

対象者577名中1

問……………

20名(約21%)が避難し、要支援者は4名だった。また、避難しなかった理由は、指定避難所以外の安全な場所へ避難した、高台等の安全な場所において避難の必要性を認識しなかった、市の避難情報が分からなかった、というものである。

自主防災組織の行動内容と課題は何か。

答……………

自主防災組織が十分に機能しなかったという反省から、自主防災組織と消防団の連携やリーダーの育成、行動マニュアル作成、適切な情報伝達と避難について、今後の防災訓練に生かすことが重要である。



豪雨による河川の氾濫状況 (土淵町栃内地区)

空き家対策の方針は

問……………

今年度実施中の空き家調査結果を受けて、今後どのように対策を講じようとしているか。

答……………

空き家情報をデータベース化し、活用可能なものは空き家バンクへの登録を促し、所有者と利用希望者へき

問……………

老朽が著しい空き家に対し、助言や勧告、命令に従わなかった場合に行政代執行まで想定しているか。

答……………

状況により行政代執行も必要と考える。執行に当たっては、第三者機関の意見を聞き客観的な視点から判断したうえで、執行など慎重に扱う。



菊池 美也 議員
(政和クラブ)
一問一答方式

保育園に求めることが多いのでは

問……………

保育士の過重労働が問題になっている。大切なのは、より良い心身の状態での世話を集中してもらおうこと。保護者の意識の改革も必要ではないか。家庭ですること、地域でやれることまで保育園に背負わせているのではないか。

答……………

保護者が保育園に期待することも理解できるとは。しかし、過度な期待となつていくことがあつたら、見直しも必要。子育て支援制度も踏まえ、保育環境の改善に向けた取り組みを検討する。保育園で働くスタッフにとつて何が一番良い事なのか、また、そのことが子どもの育ちの環境改善にもつながるのか、

「産んでも大丈夫」というメッセージの発信を

問……………

女性が働きながら子供を持つのは大変。それを助ける父親も支援しよう。それでもふたりだけでは大変だから、社会全体で支援する。「男性が育児することへの男性本人・職場の抵抗感」を払拭する気運の醸成が必要と考え。新米パパに、産休を与えてはどうかか。

答……………

どうすれば妻の出産や育児などを理由とした休暇を取得しやすい雇用環境になるのか、さまざまな角度から検証する。それが企業への奨励金や人材確保なのか、休業中の経済支援なのか、ケースによってどのような形が有効か検討していく。さらに、父親の育児参加を促進するよう意識啓

問……………

「あなたの子育ては大丈夫です!」という心強い宣言を女性に届けるべきでは。

答……………

仕事と育児の両立が大変であることは十分認識している。子どもを健やかに育てることの第一義的責任は親にあるが、総じて、育児の中心を担っているの



▼出産前のファミリー教室
子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性がもっと多くなれば、妻である女性の生き方や、子どもたちの可能性が大きく変わっていくはず

※子ども・子育て支援新制度

平成27年4月スタート。幼児期の教育や保育、地域での子育てを総合的に支援する制度。
市町村は子育て家庭の状況や、子育て支援へのニーズを把握し、5年間を計画期間とする「子ども・子育て支援事業計画」をつくる。



菊池 巳喜男 議員 (市民クラブ) 一問一答方式

その他の質問

- 高齢者の交通事故の課題と対策について



盛り上がる、まちづくり実践ワークショップの様子

地区センターの自主的活動は進むのか

問.....

地区まちづくり計画が策定されている。

問.....

「まちづくり実践ワークショップ」を開催している地区センターもあるが、各地区センターと地域づくりの現状はどうなっているのか。

答.....

答.....

健康づくりというキーワードの中で、宮守と上郷地区センターに11月から保健師を配置した。まちづくり実践ワークショップでは、

今後の地域づくりは、地域運営組織の強化と地域課題を解決するための新たな事業の創出と既存事業の見直しを

問.....

平成29年度の新年度に向け、各地区センターのあり方は、責務

答.....

と財政を含めてどのように取り組むのか。

まちづくり実践ワークショップを他の地区センターにも展開し、11地区センターのネットワークを構築したい。地域づくりの財源確保と自主的に動ける体制整備のため、地域に責任と権限と財源を持たせるように3年間ぐらいは足場を築けるような予算計上をしていきたい。

問.....

災害時に電源オフになった場合、情報伝達方法は。

答.....

市内には、257名のアマチュア無線局がある。電源オフ時の情報収集が期待される協力体制を構築してはどうか。

答.....

防災行政無線、携帯電話のエリアメール等を活用する。防災行政無線基地局には、非常用発電設備が敷設しており自動的に運用が可能。放送塔にも、72時間の停電に対応できるようバッテリーが内蔵されている。

アマチュア無線クラブと早期の通信協定を

遠野ケアイノベーション会議の活動を市長はどう捉えるか

問.....

本年10月19日付地元紙に「遠野ケア若手先導」の大見出しで、介護や福祉の仕事に携わる遠野市内の若手職員が、遠野ケアイノベーション会議を立ち上げ、活動に乗り出した旨の記事が掲載された。記事を読んで遠野の若い方々の積極性とチャレンジ精神を感じたが、市長はこの動きを

答.....

最近、市内随所で若い方々の動きが活発になっており、手応えと心強さを感じている。遠野ケアイノベーション会議も、まさに若手の方々の動きで、介護・福祉の仕事に従事する若者20名が職場の枠を超えて集まり、「介護・福祉業界をもつと

元気に！」を合言葉に設立した任意団体であり、高く評価している。

問.....

遠野ケアイノベーション会議は、活動目的に▽研修や会議を通じて仲間となり明るく働ける労働基盤をつくる▽介護福祉の魅力を広く発信して人材不足に歯止めをかける▽遠野で地域包括ケアシステムを具現化させる、の3点を掲げた。目的が具体的に明確であるが故に、目的を実現するための手段や方策についての話し合いも活発になされるであろうことは容易に想像できる。

答.....

介護・福祉分野はもちろんだが、今進めている地域づくりをもつと活性化するためにも、

考え方や取り組みが大きな一石を投じることになると期待している。

地区センターを中心とした地域づくりにもイノベーションという新しい価値を見い出す仕組みも取り入れながら進めていきたい。

会議の取り組みを地域の活性化にも活かさないか

問.....

元気に！」を合言葉に設立した任意団体であり、高く評価している。

考え方や取り組みが大きな一石を投じることになると期待している。

地区センターを中心とした地域づくりにもイノベーションという新しい価値を見い出す仕組みも取り入れながら進めていきたい。



浅沼 幸雄 議員 (政和クラブ) 一問一答方式

その他の質問

- 遠野市公共施設等総合管理計画について
- 第3セクターへの支援について

これからの遠野における地域づくりや産業の活性化のためにも是非参考にすべき取り



今後の地域づくりの手法に一石を投じる遠野ケアイノベーション会議の活動の様子



瀧本 孝一 議員
(市民クラブ)
一問一答方式

行政組織再編の時期や 新庁舎完成は遅れるのか

問……………

前回9月議会で質問した「行政組織再編の内容と方向性について」、予定されていた議員全員協議会への説明や、今議会に提出されるはずだった関係条例の上げがない。

延期になる場合、新庁舎の完成時期と組織再編の相互関係は。

答……………

再編は本年4月の稼働に向けて、シンプル・スリム・フラットかつ、これからの「あるべき組織」について、地域経営会議において8回の協議を重ねてきた。

しかし、新庁舎の完成が当初の予定から2〜3カ月遅れて7月末となることから、組織再編も拙速を避け、より丁寧な検討をするため、1年先送りの平成30年4月からとする判断をしたところでありご理解願いたい。

問……………

組織再編が遅れる場合の、市民サービスや地域経営改革等への影響はないか。

答……………

再編の時期が延期になることで、市民サービスへの影響はないと考える。

高齢者の交通事故抑止へ 免許自主返納誘導策は

問……………

高齢者が原因と思われる、悲惨な交通事故が全国各地で多発している。市内の高齢者の運転免許証自主返納等の実態は。

答……………

当市の人身事故件数は年々減少しているが、高齢者が関わる件数は増加傾向にあり、平成27年度は全体の約8割を占めている。

市内高齢者の運転免許自主返納件数は平成27年度に70件、平成28年度は11月現在で43件という状況で、高齢者ドライバーの1.5%にとどまっている。

問……………

車は地方や過疎地にとって重要な交通手段であるが、増え続ける高齢者事故対策の一環として、運転免許自主返納を促す啓発や誘導策の考えは。

答……………

高齢者交通安全教室の中で、測定機械を使って身体機能の変化を自覚してもらい、自主返納を促している。また、遠野警察署が開催している高齢者対象の法令講習会で制度をPRしている。



菊池 充 議員
(遠野一新会)
一問一答方式

全国わさび生産者大会に向けての 取り組み状況と今後の振興策は

問……………

全国的に知名度の高い遠野市であるが、一次産業に限っては全国に誇れる品目が少ない中で、日本食文化の代名詞でもあるわさび産地をどのように発信していくのか。

答……………

来年度開催される遠野大会においては、まさに、28年前に宮守が

全国に向けて情報発信した成果と栽培100年の歴史を踏まえ、今後100年の遠野わさびの振興を全国に発信していく。

問……………

開催時期の見通しと大会を担う事務局等の受け入れ体制は。

答……………

開催時期は平成29年

問……………

大会内容とそれに伴う予算の見通しは。

答……………

1日目はわさび審査会、2日目は品評会、通常総会、講演会及び

10月5日から7日の3日間を予定している。

なお、正式決定は、来年2月に開催される全国わさび生産者協議会役員会の議決を踏まえる必要がある。

受け入れ体制は、大会運営そのものは、岩手県わさび生産者協議会を中心に「全国わさび生産者大会岩手県実行委員会」が母体となる。

問……………

2日目は市産業まつりの前日となり実行委員会関係者は準備への対応や例年開催している大府市や福崎町の首長、議員、職員、特産品販売関係者等と遠野市の同様の関係者による交流会もあり日程的に厳しいのでは。

問……………

この大会を契機として

答……………

遠野市は今までも様々なイベントに対応してきたノウハウを有しており、全国大会もこなせる力を持っている。課題を一つ一つチェックしながら準備を加速させていく。

答……………

引き続き遠野わさび生産者協議会と遠野さわび公社という、市人的、組織的財産を活用し、根わさび、畑わさびの更なる振興を進めることとなる。



農業所得の向上が大きく期待される林間畑わさび

厳しい寒さの中、本年7月末の完成を目指して着々と工事が進む新庁舎の工事現場



わたしのひとこと



宮澤 静江さん
(上郷町)

以前大きな病に侵され落ちこんだこともありましたが、家族や親せき、友人たちの励ましのお蔭で元の体に回復することができ、今は元気バリバリと農作業に励んでおります。お蔭様で人と人とのつながりや助け合いがいかに大切か再認識することもできました。

現在「夢産直かみごう」で、女性4人で「おふくろの味伝承会」を立ち上げ、菓子や惣菜類を販売しております。「夢産直かみごう」と当会の売り上げは増加傾向にあり、お客様や仲間との交流も楽しく、地域の活性化にもつながっているものと思っております。

いよいよ復興道路の全面開通は平成30年度と迫っております。既に開通済みエリア内の産直売り上げは減少傾向にあるとか。私たち組合も今のうちからお客様に、より愛される産直にすべく努力中ですが、行政にも的確な対応策を講じていただけるよう期待します。

このコーナーは、市民の皆様のまちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載を希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

市民の皆様へ

前号まで掲載していましたが「議会の動き」につきましては、限られた紙面を有効に使用したいとの思いで、掲載しないことになりました。ご了承ください。なお、遠野市ホームページで議会の活動状況がご覧になれます。

今回の議会だよりの編集作業は、山形県米沢市と川西町の議会だよりの視察研修を参考に取組んでいる。今までとは少しずつ変わっていくと思う。勉強をしても職員も変わる、議員も4年毎に変わるので、編集の覚書きを作成して次の編集委員に渡す体制を学んだ。「市民が分か

編集後記



り易くて、読みたくなる議会だよりを」と改めて考えさせられた研修であった。市民の皆さまから、どうぞ意見をいただきながら、より良い議会だよりにしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(照井)

広聴広報常任委員

- 委員長 ■ 菊池 巳喜男 ■副委員長 ■ 小林 立栄
- 委員 ■ 菊池 充・照井 文雄・多田 勉・菊池 美也

とおの議会だよりのクイズ

●欄に適切な言葉を入れて下さい

- その① 市議会では、朗読ボランティア宮守の皆さんのご協力をいただき、●の議会だよりをお届けします。ご活用ください。
- その② 市議会では、市民との懇談会で市民から聞き取りした意見・要望等を、「●●●」として市へ提出しました。
- その③ 今年10月、遠野市を会場に開催される予定の全国●●●生産者大会。平成元年旧宮守村で開催されて以来、28年ぶりの開催。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキやメールでご応募ください。議会だよりを讀んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。応募者の中から、抽選で3名の方にすずらん商品券 1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

《あて先》〒028-0392 遠野市宮守町下宮守 29-77 遠野市議会事務局 宛

《メールでも応募できます!!》 gikai@city.tono.iwate.jp

《しめくり》平成29年2月28日(当日消印有効)

～議会だよりの47号クイズの答え～

その① 304 その② 境港 その③ みんな

議会への提言をお待ちしております!

とおの議会だよりの No.48 【発行責任者】遠野市議会議長 新田勝見 【編集】広聴広報常任委員会

〒028-0392 岩手県遠野市宮守町下宮守29地割77番地
ホームページ <http://www.city.tono.iwate.jp/>
【印刷】株式会社 東海印刷所

TEL 0198-67-2111
E-mail gikai@city.tono.iwate.jp

